

# 取扱説明書

## **DRAWMER**

# LA12

## **Distribution Amplifier**







### 目次

安全にお使いいただくために .....	2
はじめに .....	4
設置 .....	4
操作 .....	4
フロント及びリア・パネル・レイアウト .....	5
仕様 .....	6
寸法図 .....	6
ブロック・ダイアグラム .....	7



# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	<p><b>警告</b> 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大怪我などの人身事故の原因となります。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して置く 隙間をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
 <p>指示</p>	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>

	<p><b>注意</b> 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によって、怪我をしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。</p>
 <p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてケガの原因になることがあります。</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。</p>
 <p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のコードを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。</p>
 <p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やケガの原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
 <p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>
 <p>注意</p>	<p>5年に一度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。 内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>

## はじめに

Drawmer LA12は、低ノイズ、低クロストークのディストリビューション・アンプリファイヤーです。この機器はマスター「ゲイン」と「バランス」コントロールが可能な1系統のステレオ入力に、12系統のステレオ出力を持ち、それぞれの出力は独自のレベル・コントロールを備えています。これにより1系統のステレオ信号を最大12の異なった出力にディストリビュート可能です。典型的な使用例としては、リアル・タイムのカセット・コピーが挙げられますが、ディスコやショッピング・モールといった建物内において他の部屋へ1系統のステレオ信号をディストリビュートする、といったような様々な他の状況でも使用できます。

このユニットでは最大+20 dBのゲインを得ることができるため、幅広いソース・レベルや入力レベルの機材とのインターフェースが可能です。

また、さらに多くのステレオ出力が必要な場合、インプット・ゲインとバランス・コントロールを経由した1系統のAUXステレオ出力を使って、2台目のLA12の入力へとリンクすることができます。

## 設置

LA12は標準サイズである19インチ・ラック・マウント用にデザインされており、1Uのラック・マウント・サイズです。パワー・アンプやパワー・サプライといった、著しく熱を発生する機器のすぐ上に設置することは避けてください。

また、ファイバーあるいはプラスチック製のワッシャーを使うと、フロント・パネルに取り付けネジの痕が残るのを避けることができます。

## 操作

LA12は使いやすさを考慮してデザインされており、-10 dBから+10 dBの範囲における入力レベルで動作します。信号ソースはリア・パネルの「INPUT」の左右チャンネルの端子に接続し、「OUTPUT」端子は使用に応じた信号の送り先へと同様に接続します。また、フロント・パネルのコントロールはそれぞれ左右両方のチャンネルを同時に調整します。

### INPUT:

入力レベルは「ゲイン」コントロールをどの位置に設定するかによって決定されます。「バランス」コントロールは、左右チャンネル間のステレオ・バランスを調整するために使われます。

### OUTPUT:

1から12までの番号が書かれている「アウトプット」コントロールは、同じ番号のリア・パネルのRCA端子からの出力レベルを調整します。

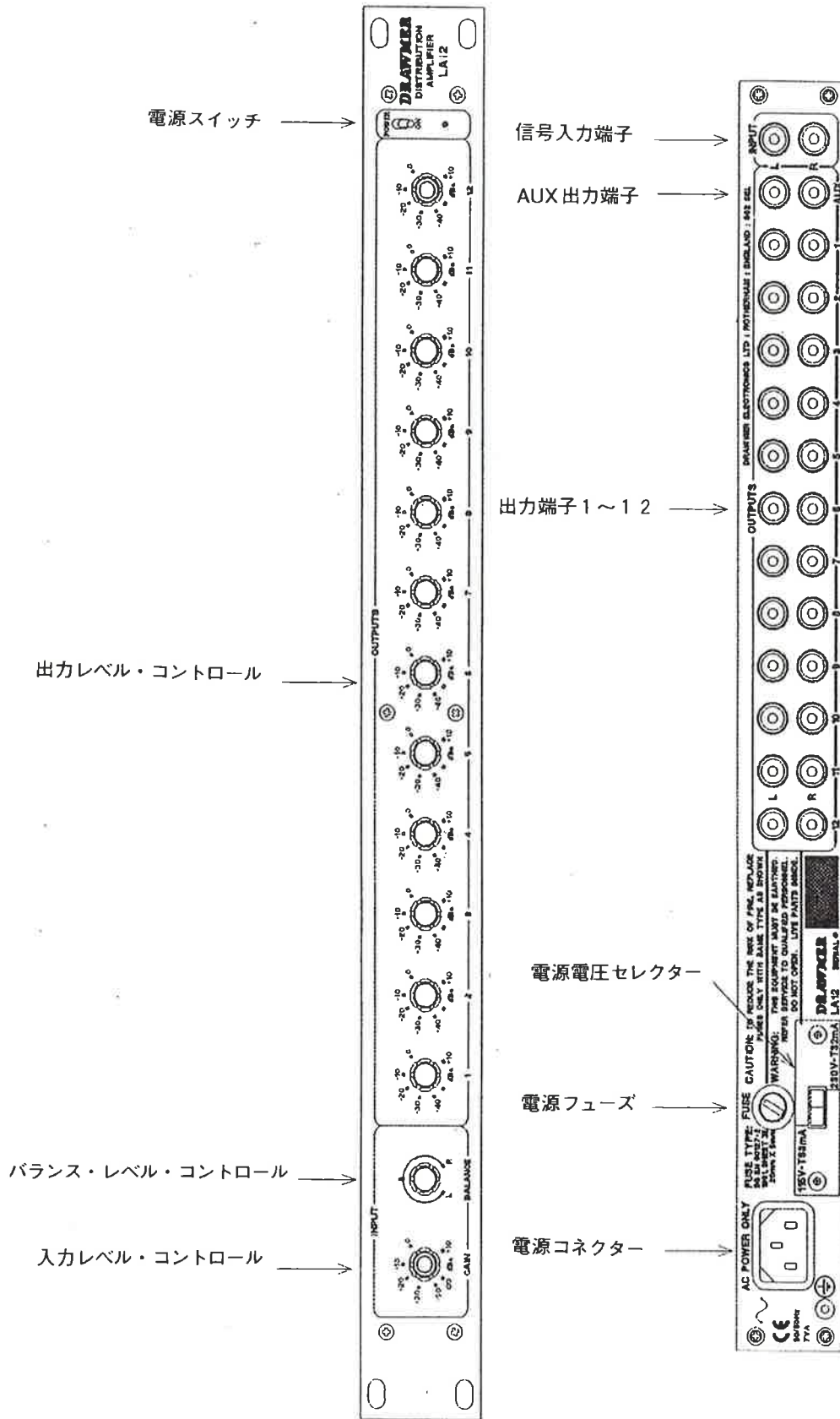
### AUX OUTPUT:

このRCA出力コネクタはもう一台のLA12とリンクを行う場合に使用されます。この出力からのレベルは「インプット」レベルとバランス・コントロールによって決定されます。

## オーディオ接続

オーディオ接続はすべてプロフェッショナル・クオリティのRCA端子を使って行われ、白が左チャンネル、赤が右チャンネルを表します。アース・ループが発生した場合、電源のアースを絶対に切り放さないでください。その代わりに、ユニットの入力あるいは出力へと接続されているケーブルのシールドを切り放すことをお勧めします。

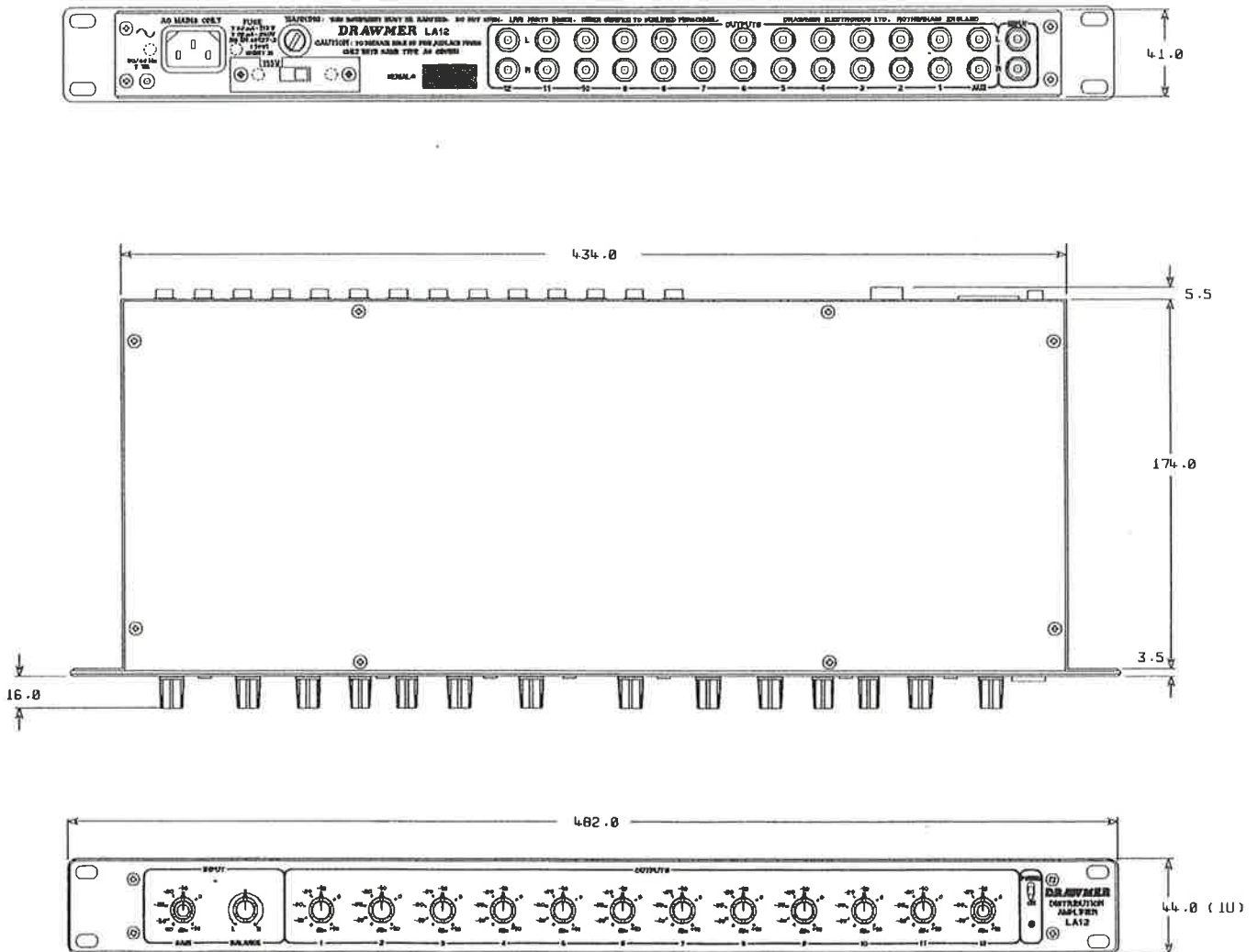
# フロント及びリア・パネル・レイアウト



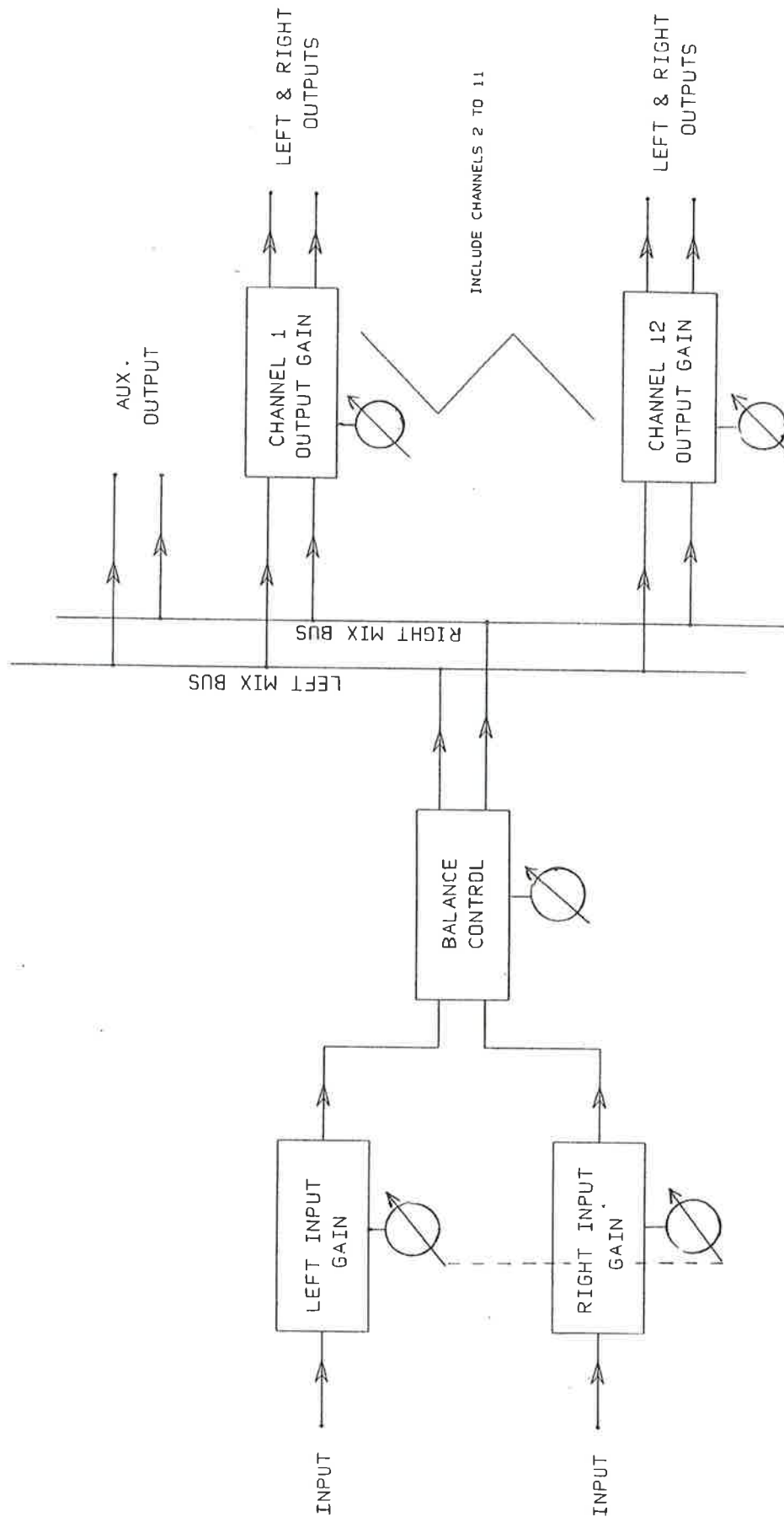
# 仕様

入力インピーダンス	22k Ω	消費電力	4W / 100V (7W / 115V)
入力ゲイン	最大 +10dB	フューズ規格	63mA (115V 設定時)
出力ゲイン	-40dB - +10dB		BS EN 60127 - 2:1991 Sheet III に準じる
ノイズ・レベル	-100dB 以上 (+4 dBV 基準、 ゲイン=0 dB、@22 Hz - 22 kHz)	フューズ・タイプ	20mm × 5mm クラス3 スロー・ブLOW、250V 定格
クロストーク	-67dB @ 10kHz (インプット・グラウンド、 どのチャンネル・アウトプットにも)	寸法	幅 482mm × 高さ 44mm × 奥行き 200mm (突起部含む)
周波数特性	5Hz - 25kHz, -1dB	重量	2.8kg
			■ 0dBu=0.775V

## 寸法図



# ブロック・ダイアグラム



- MEMO -



- MEMO -

- MEMO -



### 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
  - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
  - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷
  - (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
  - (6) メンテナンス
  - (7) 本書の提示がない場合
  - (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- \* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

## ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00~12:00 / 13:00~17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30~17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

0522.MA-3515A

Printed in Japan

## 保証書

品名	DRAWMER LAIZ		
機番			
保証期間	本体	1年	

買い上げ日			
お客様	お名前		
	ご住所		

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます。ご了承ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店		
電話		

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

## ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033 / 0570-000-501

# 見本

